



ひろと
大翔ちゃん(平成21年5月3日生)
両親＝高蝶智之・恵里子さん〔琴田〕
「車に乗ってとてもご機嫌♡
毎日元気に遊んでいます！」



えいと
瑛士ちゃん(平成21年2月10日生)
両親＝飯倉由行・裕子さん〔新町〕
「ぼくは外で遊ぶのが大好き！
サッカーボールをけるのが得意だよ」



ひなた みずき
陽詩ちゃん・瑞樹ちゃん
(平成21年8月6日生・平成19年3月21日生)
両親＝平野秀樹・仁美さん〔江ヶ崎〕
「2人の笑顔にいつも癒されます。
これからも兄弟仲良く、笑顔でね」

すこやかちゃんを募集しています

掲載を希望する人は、秘書広報課広報広聴班(〒289-2595旭市二の1920・☎62-8070)へ。
対象は、小学校入学前の幼児です。申込用紙は、旭市保健センター、飯岡保健センター、秘書広報課にあります。



ふるさとの自然

6

人の近くでたくましく生きる ムクドリ

夏の夕暮れ時、小鳥の大群が空を通過していきます。ねぐらに帰るムクドリの群れです。時には数百羽が電線や樹木にずらりと止まり、ジェージェーと騒々しく鳴き交わしています。

○最もよく見掛ける鳥

ムクドリはスズメより2回りほど大きい鳥で、体の色は全体に黒っぽく、足とくちばしはオレンジ色で、飛んだときに白い腰が目立ちます。市内では全域で1年中普通に見られます。

○巣穴をめぐる争い

夏から冬にかけては群れで暮らすムクドリですが、子育ての時期はつがいです。巣は太い木の幹に空いた「うろ」や、建物のすき間、戸袋などに作ります。巣作りに適した木の「うろ」は限られているので、何つがいものムクドリが1つの「うろ」をめぐる争い、大騒ぎしていることがあります。近ごろは建物のすき間も少なく住宅難のようです。

○人間の暮らしを利用

ムクドリは田畑や芝生などの土の中に住むミミズや昆虫など



を食べます。地上に降りて歩きながら、くちばしで上手に掘り出します。果実も好物で、庭のカキの実が甘くなると群れでやってきてきれいに食べてしまいます。住まいも餌も、人間をうまく利用しています。

○千羽に一羽毒がある……？

江戸時代初期の土佐藩の家老で学者の野中兼山は、領民に「ムクドリは千羽に一羽毒がある」と言ったそうです。田畑の害虫を食べるムクドリは益鳥なので、保護しようとしたのです。しかし、近年は数が増え過ぎて果樹などを食い荒らす害が目立つようになり、狩猟鳥に加えられています。

(齊藤敏一)

暮らしのカレンダー

- 11日(土) 中学校体育祭(一中・二中・海上中・飯岡中・干潟中)
- 18日(土) 小学校運動会(富浦小を除く) ※琴田小・中和小・萬歳小・古城小は、地区体育祭と合同開催。
- 20日(月) 敬老の日・敬老大会
- 23日(木) 秋分の日
- 25日(土) 富浦小運動会
- 26日(日) 秋のゴミゼロ運動、あさひのまつり
- 30日(木) ゆめ半島千葉国体卓球競技会(～10月4日(月))

編集後記

夏、多くの華やかなイベントが町に活気をくれました。紙面には登場しませんでした。が、市内の多くの地区では、今年も祇園といわれる昔ながらのお祭りが行われました。おはやしの音色と威勢の良いみこしの掛け声が人を誘い、みんなで町内を練り歩きます。「今年も、あそこのおばあちゃん元気だな」「この若夫婦には子どもが生まれたんだ」普段あまり会話を交わさなくても、みんなが自然に顔を合わせ、人と人をつなぎます。ずっと続いて欲しいお祭りです。(ま)